



スキー協通信

東京都勤労者スキー協議会

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル4F (3971) 4144

ホームページ：<http://www.tokyoskikyo.org/>

No.314

発行

2009.12.1

発行責任者・小川 洋

東京スキー協40周年レセプション



目次

東京スキー協40周年レセプション報告	1～2頁
第17回クラブ交流平和駅伝報告	3頁
全国スキー協リーダー学習会報告	4頁
全国理事会報告	5～6頁
Information	7頁
12月・1月のカレンダー	8頁

東京スキー協創立40周年記念レセプションが、去る10月31日に麹町・エデュカス東京で開かれ、総勢78名の参加で開催しました。

私たち東京都勤労者スキー協議会は、1969年に創立して以来「一人ぼっちのスキーヤーをなくそう」「スキーを早く、安全に上達しよう」と奮闘してきました。そして40周年を迎えることが出来ました。司会には、若手の森田克暁(プレアデス)さん、本多賜代(シーハイル)さんをお願いしました。

I部では、海野茂会長があいさつし、創立30周年以来会員数では減少していますが全国スキー協そして東京スキー協が果たしている役割に確信を持ち、これからの10年、20年と頑張っていきたいと思います。

来賓の方々には、全国スキー協理事長の石川正三氏、新日本スポーツ連盟全国事務局長の桑名令子氏、新日本スポーツ連盟東京都連盟副理事長の北川登氏、埼玉スキー協理事長の関口誠一氏、神奈川スキー協の杉田厚氏、舞子スキー場下幅旅館の種村清氏、舞子スキースクールの小林秀樹氏、東京労山の三尾彰氏からご挨拶を頂きました。

II部に入り、創立以来の会員である白鳥操さん(豊島SC)の乾杯の音頭に続き、ラ・ランドネの杉原さんが作製して頂いた東京スキー協紹介スライドを上映しました。

創立時からの会員であった五十嵐勝次さん(シーハイル)、柴正夫さん(はるひの)、そして東京スキー協の元役員であった田中義人さん(初代会長)、橘長利氏(元副会長)、山崎一彦(元副会長)から創立当時の取り組みや、苦労話や楽しかったことなどを語っていただきました。

30周年以降に加盟したクラブの紹介では、ウイークデーSC(2004年加盟)、てんとおむし(2005年加盟)、雪けむり(2007年加盟)、マラヂェッツ(2009年加盟)の各クラブの方から挨拶していただきました。

アトラクションとして、小柳光雄さん(モルゲンローテ)のギター演奏付の合唱、ともしびの杉山さんご夫妻の歌と伴奏による合唱を参加者全員で楽しみました。

最後に閉会挨拶に立った小川洋理事長から、スキーを楽しみながら1000名の東京スキー協を実現しようと訴えがされました。

近藤安宏・実行委員長



快汗クラブ交流平和駅伝



定刻 11 時スタート



第 2 走者へたすきリレー



ロードジャンボリー？スラロームのコスプレ



優勝はスラローム（表彰式）



どさんこの皆さん

11月8日（日）紅葉に染まる多摩湖堤防の周回コースで第17回クラブ交流平和駅伝が選手、役員&応援の約60名の参加で行われました。

6月の総会で日程変更の提案をした我エーデルヴァイスは9月26日の試走会はもちろん当日の要員も3役3名があたり、2チームを予定していた選手団は仕事やケガでギリギリ4名となりましたが大会を盛り上げることはできたようです。さてレースは混成チームを含め5チーム。秋空の下コースの半分を見渡せる周回コースはスタートまもなくの堤防への登りがちょっとキツイと感じた人もいたようですがコース幅も広く迷うところもないという評価でした。レースは序盤をリードした“スラローム”、“エーデルヴァイス”を3番手に付けた“シュプール”が追う展開。区間賞1、2位独占の女性軍の活躍で見事“シュプール”が逆転優勝、2位は“エーデルヴァイス”、そして3位表彰台の一角に“どさんこ”が食い込みました。

レース後は恒例の表彰式と交流会で失った汗の補給に努めました。今回は会場の都合もあり光が丘から続いていたトン汁はやめてビールと弁当のみ、その分各クラブが持参の食べ物を用意、中でも交流会の途中から姿を消した“どさんこ”は、堤防上の広場に陣を構え、てんぷらあり、焼肉ありのプレミアムビールありの豪華メニュー。うわさを聞きつけて帰りに、副会長、理事長とともにあつかまし

くごちそうにあずかりました。天気にも恵まれいい汗をかいてスキーシーズンへ突入です。

いつものことながら縁の下の力持ちで働いている石黒さん、濱田さんをはじめとする役員の方々の努力には頭が下がります。

来年は努力にむくいるよう多くのクラブの参加を望みます。

報告=エーデルヴァイス 増田

第24回全国リーダー学習会報告

日 時：2009年10月24～25日

場 所：箱根湯本 ホテル開雲

スローガン：皆で語り学ぼう！あなたの熱い想いと行動でスキーの楽しさを広げ、豊かな仲間づくりを

●全国各地から33名が参加。（東京からは小川）

報告①「スキー協の発展と都道府県スキー協役員の役割」石川理事長

報告②「スキー界の現状とこれから」五十嵐民夫全国常任理事

それ以後はテーマを決めて討論

テーマ（1）クラブの現状を把握しクラブへの援助と都道府県スキー協役員会の役割

役員会の中で会員拡大の論議がされているか？

政権交代で我々の出番ではないのか？

クラブアンケートの重要性

テーマ（2）スキーの楽しさを広げる多様な取り組み等について

周年事業を節目に会員復活

「孫と祖父母のペアマッチ大会」「親子ペアマッチ大会」

「ラップをとったらサランラップ」

前橋スベロークラブ映画会の教訓・経験 コンビにでもチケット販売、
s a j 公認

他県との交流で活性化（競技大会以外に全国的なスキー祭典はどうだろう？）

テーマ（3）スキー協の活動を知らせる外部への取り組みは

派遣行事の取り組み

労働組合や学童クラブとの合同行事

社会教育団体への登録

全国理事会報告

全国理事会 11月14～15日 前橋

今回の理事会のテーマは

●シーズンでの取組みを成功させ、スキー協の組織的前進につなげよう

5000名会員と2500部スキーマイト読者の目標実現に向けて県スキー協役員会がどのように実現するかという論議でした。

- 1、「県スキー協は3クラブ、100名以上を目指す」
- 2、全てのクラブは5名以上の会員を増やし、30人以上のクラブにしましょう。
- 3、「新たなクラブの結成と、必ず新会員を迎えるクラブの取組みを進める」
- 4、ジュニア、シニアの組織化を具体化していきます。
- 5、「会報、HPなど、外に向けて情報発信を重視します」
- 6、「試されずみの組織運営を原点にもどって確立できるよう、全国的な交流を進めます」
- 7、クラブ行事を積極的に開催します。

スキーマイトについて、

- 1、都道府県スキー協役員会で必ず議題にし、読者状況を常に把握し、取組み具体化を。
- 2、スキーマイトを活用したクラブ活動を意識的に進めます。
- 3、クラブ活動がスキーマイトに反映するよう県スキー協は情報を編集部へ。

専門分野の強化・拡大を

各都道府県スキー協の専門分野での強化・拡大に向けて、担当者の参加、取組みが重要です。

- 1、指導員の技術向上、中・上級指導員の養成を

DVD 第5作目の「ターンの質を高めよう」の実践の中で、中級、上級指導員へのアプローチする取組みを強めます。

- 2、中央研修会、全国スキー競技大会、スキー協 CUP、セッター養成など、専門分野の強化・拡大に取組みます。(各要項は別紙資料で)

- 3、スノーボード教程発行を機会に、スノーボード教程の普及と組織化をスキー愛好者の要求実現に、要求内容を集約しましょう

先の赤倉温泉スキー場での40周年記念行事の際に「共通リフト券廃止」との状況や、山スキー時に「リフト降場で入山届を受け取らない」などの対応がある、ことなど、スキー活動での不合理やスキーヤーの要求を集約します。スキー愛好者が喜ぶスキー環境にするために取組みます。

- 1、各地の要求内容を「全国スキー協」に集約します。

スキー場エリア内・外、交通、安全問題から、最低賃金を上げてスキーにいける収入の問題、学校のスキー授業削減なども含めて、広く集約し、実現に向けた取組みにつなげま

す。

<今後の検討事項>

1、リーダー学習会で提起された、40周年記念行事で実施したような、スキー協の全てが現れる、スキー協を知ってもらおうスキー行事“として『スノーフェスティバル』（仮称）』の開催に向けて検討します。

この取り組みは、毎年開催するのではなく、節目の年（3～5年）での開催を検討していきたい。

2、国際交流について

各都道府県スキー協やクラブが記念行事として取組む「海外スキー行事」で、FSGTとの交流の計画をしたいと考えているスキー協・クラブは全国スキー協にご連絡ください。

討論の中では

役員会が刷新して新しい取り組みが進んでいる。クラブを訪問し拡大に重要性を訴える——北海道

クラブ行事を通年化することで会員が増えている——青森

技術向上に取り組みもうという中で、今年は上級指導員を5人が受験している——大阪
パンフレットを活用し各民主団体へ「スキーやる人いませんか？」と声掛けしている——兵庫

大型バス2台（80人）を目標にし、構えを大きくした事で様々な工夫や人材を増やしている——埼玉

ブロック行事の成功で各県が活発になっている——東北ブロック

行事の報告をHPに写真を一杯入れて掲載。カラー印刷のビラで宣伝——兵庫

クラブ実態アンケートの実施と分析で組織を知ることが大切——北海道

トランシーバーを講習生に持たせて講習することでレベルアップ——群馬

100人の会員中70人が結集して「スキー映画の夕べ」大成功——群馬

会員拡大をクラブ任せにせず、都道府県役員が先頭に立つことが大切——石川理事長

山スキー行事は他に類を見ない運動をしている。（年間160行事／1600人）——山スキー部会

群馬、新潟、東京等で組織が出来つつある——スノーボード部

団塊の世代をターゲットにした取り組みの重要性。ウィークデークラブが元気だ——東京

information

東京スキー協主催

越年ファミリースキー

日 時：12月29日(火)夜～1月3日(日)朝

参加費：55,000円 個室利用6,500UP(会員割引有り)

宿 泊：ライジングサンホテル

〒028-7302 岩手県八幡平市松尾寄木第一地割590番地226

TEL:0195-78-2170

問い合わせ 東京都勤労者スキー協議会・越年スキー係

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2

大住ビル402号 TEL・FAX:03-3971-4144

関東・関越ブロック合同行事

2010GSL RacingCamp

日 時：1月9日(土)～1月11日(月)

場 所：かたしなスキー場

参加費：1泊2食：17,500円 1.5泊3食：21,000円

2泊4食：26,500円 2.5泊5食：30,000円

宿 泊：ジョイフルいっちゃん

〒378-0413 群馬県利根郡片品村越本(字上而うわで)1246

TEL 0278-58-2348 / FAX 0278-58-3975

問い合わせ 東京都勤労者スキー協議会・かたしなレーシング係

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2

大住ビル402号 TEL・FAX:03-3971-4144



12月・1月のカレンダー

12月	東京スキー協	全国スキー協	1月	東京スキー協	全国スキー協
1日(火)			1日(金)	越年ファミリー	
2日(水)			2日(土)	〃	
3日(木)	常任理事会		3日(日)	〃	
4日(金)			4日(月)		
5日(土)		中央研修会	5日(火)		
6日(日)		〃	6日(水)		
7日(月)	技術部会		7日(木)	常任理事会	
8日(火)			8日(金)		
9日(水)	競技組織委員会		9日(土)	片品レーシング	雪崩講習
10日(木)			10日(日)	〃	〃
11日(金)			11日(月)	〃	〃
12日(土)	初滑りフリーレッスン	山スキー研修会	12日(火)		
13日(日)	〃	〃	13日(水)		
14日(月)			14日(木)		
15日(火)			15日(金)		
16日(水)	競技大会実行委員会		16日(土)	養成レベルアップ	スノーボード研修会
17日(木)			17日(日)	〃	〃
18日(金)			18日(月)		
19日(土)	第1回研修会		19日(火)		
20日(日)	初滑り/伝達		20日(水)		
21日(月)	通信印刷・発送		21日(木)		
22日(火)			22日(金)		
23日(水)			23日(土)		
24日(木)			24日(日)		
25日(金)	冬休みJr		25日(月)	通信印刷・発送	
26日(土)	〃		26日(火)		
27日(日)	〃		27日(水)	競技大会ドロー	
28日(月)			28日(木)		
29日(火)	越年ファミリー		29日(金)		
30日(水)	〃		30日(土)	レーシングキャンプ	
31日(木)	〃		31日(日)	〃	